

# AWS初心者向けチュートリアル：Amazon TranslateとPollyを使ってみよう

---

## はじめに

---

### 対象読者

- Google Cloud Platform（GCP）の経験はあるが、AWSは初めての方
- Python歴3ヶ月程度の事務職の方
- 職業エンジニアではないが、API連携などの自動化に興味がある方

### このチュートリアルで学べること

1. AWSアカウントの作成方法
2. AWSコンソールへのログイン方法
3. IAM（Identity and Access Management）でのユーザ作成方法
4. IAM ユーザへのポリシーの適用方法
5. ユーザに紐づいたアクセスキーペアの作成方法
6. IAM ユーザへのポリシーの追加適用方法

### 必要なもの

- インターネット接続可能なPC
- Pythonがインストールされた環境
- クレジットカード（AWS無料利用枠内で使用予定ですが、アカウント作成時に必要）

## 1. AWSアカウントの作成

---

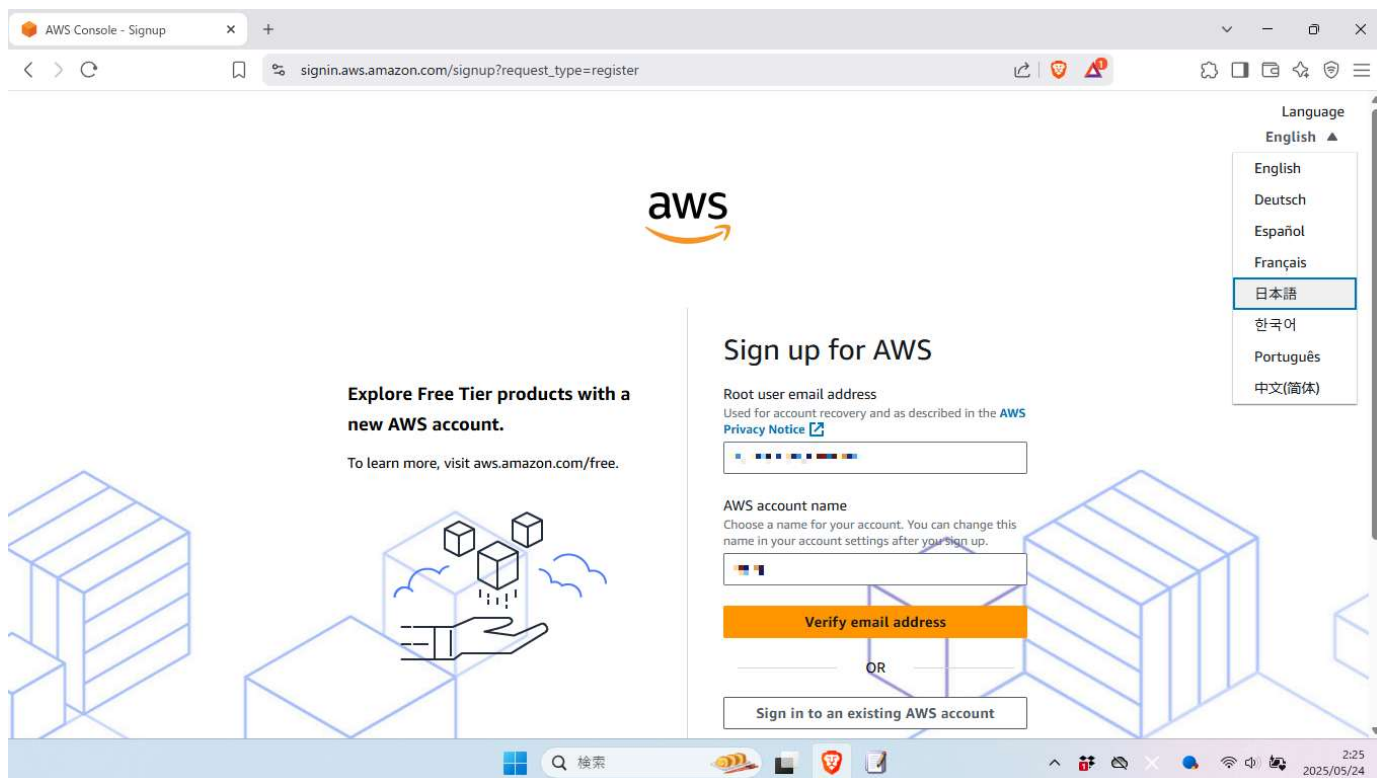
### 1.1 アカウント登録の開始

まず、AWSの公式サイト（<https://aws.amazon.com/>）にアクセスします。



上記の画面のように、「無料でアカウント作成」または「今すぐ無料アカウントを作成」ボタンが表示されています。このボタンをクリックしてアカウント作成を開始します。

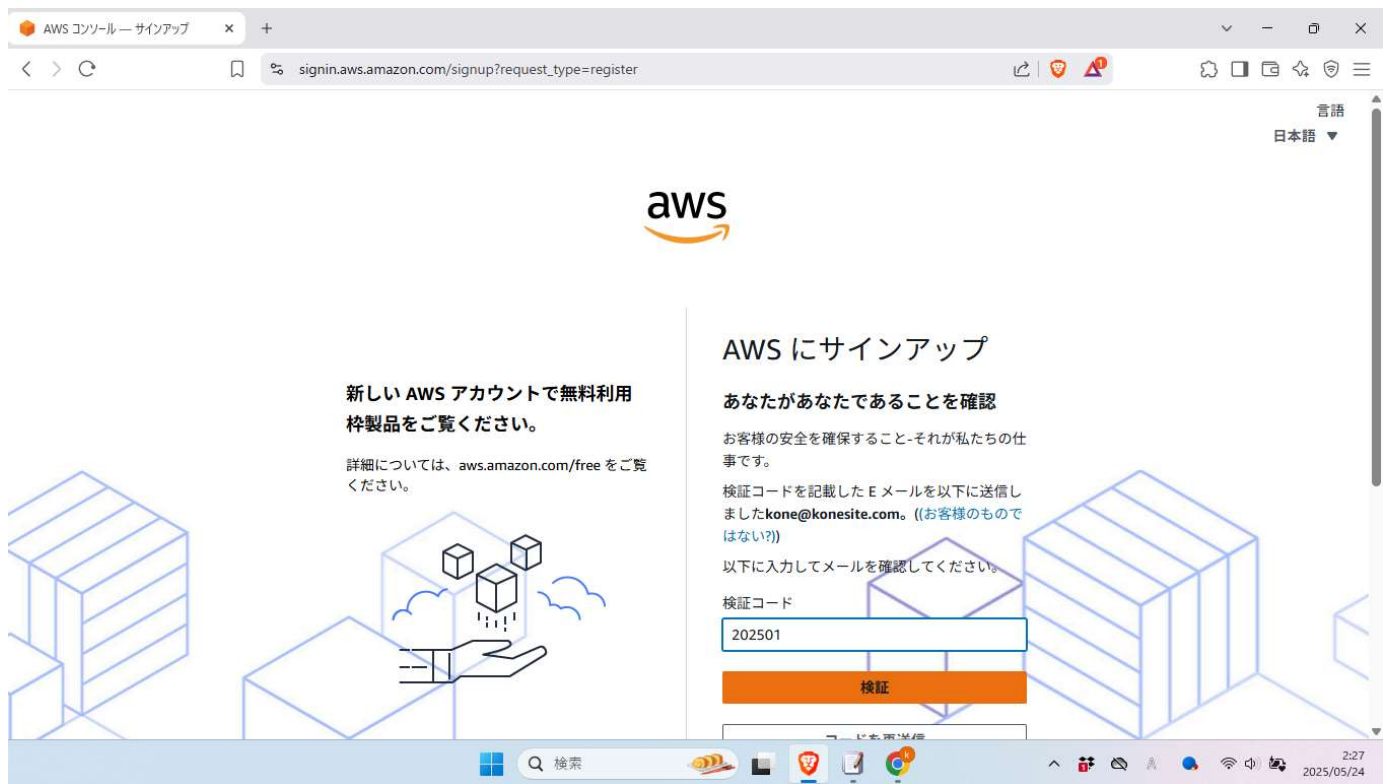
## 1.2 アカウント情報の入力



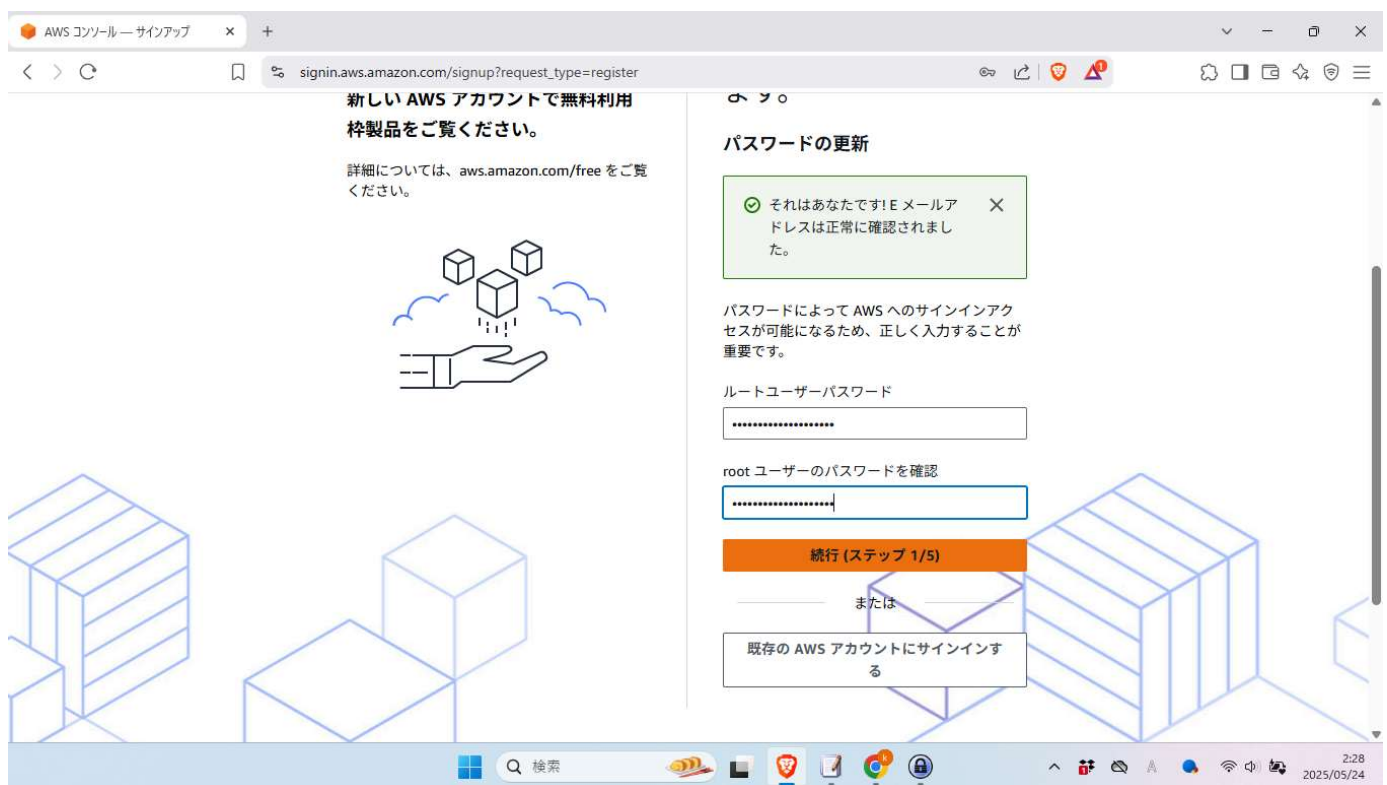
最初のアカウント作成画面では、以下の基本情報を入力します：

- **Eメールアドレス:** ログイン時に使用するメールアドレス
- **AWSアカウント名:** 管理しやすい任意の名前

「Eメールアドレスを確認」ボタンを押すと検証コードを含むメールが来ます。その値を次の画面で記入してください。



### 1.3. ルートユーザパスワードの設定



ルートユーザパスワードを設定します。

## 1.4 連絡先情報の入力

The screenshot shows the AWS Signup page with the following sections:

- 無料利用枠の提供** (Free usage limits):
  - すべての AWS アカウントでは、ご使用の製品に応じて 3 種類の無料提供を利用できます。
  - 常に無料 無期限** (Always free, Unlimited): Represented by a circular icon with a 'P'.
  - 12 か月間無料** (12 months free): Represented by a calendar icon. Text: 最初のサインアップ日から開始 (Starts from the first sign-up date).
  - トライアル** (Trial): Represented by a clock icon. Text: サービスのアクティブ化の日付から開始 (Starts from the date of service activation).
- AWS にサインアップ** (Sign up for AWS):
  - 連絡先情報** (Contact information):
    - AWS の利用用途を選択ください。
      - ☐ ビジネス - 職場、学校、組織向け
      - ☒ 個人 - ご自身のプロジェクト向け
    - 本アカウントの連絡先情報を半角英数字で入力ください。
    - フルネーム** (Full name): Keiichi Ogawa
    - 国コード** (Country code): +81, **電話番号** (Phone number): 222-333-4444
    - 国または地域** (Country or region): 日本 (Japan)
    - 住所 1** (Address 1): Yokohama
    - 住所 2** (Address 2): Naka Ward
    - 市区町村** (City/Town/Village):

続いて、連絡先情報を入力します：

- **連絡先の種類:** 個人または法人を選択（今回は「個人」を選択）
- **氏名:** フルネームを入力
- **住所:** 正確な住所を入力（郵便番号、都道府県、市区町村、番地）
- **電話番号:** 本人確認で使用される番号

## 1.5 支払い情報の設定

The screenshot shows the AWS Signup page with the following sections:

- セキュアな検証** (Secure verification):
  - ① AWS 無料利用枠の制限を下回る使用に対しては課金いたしません。お客様の本人確認の為、一時的に最大1米ドル(または現地通貨で同等の金額)のお取引を3〜5日間保留させていただきます場合があります。
  - Icon of a shield with a checkmark.
- AWS にサインアップ** (Sign up for AWS):
  - 請求情報** (Billing information):
    - 請求先の国 (Billing country): 日本 (Japan)
  - カード情報** (Card information):
    - Icons for Visa, Mastercard, American Express, Discover, and JCB.
    - カード番号** (Card number):
    - 有効期限日** (Expiration date): MM/YY 形式を使用して (Use MM/YY format)
    - セキュリティコード** (Security code): CVV/CVC
    - カードの名前** (Card name): カードに表示されている名前を入力してください (Enter the name as it appears on the card)
  - 請求先住所** (Billing address):

支払い方法の設定画面では、クレジットカード情報を入力します。

入力する情報：

- **カード番号:** 16桁のクレジットカード番号
- **有効期限:** MM/YY形式
- **カード名義:** カードに記載されている名前
- **請求先住所:** カード登録住所と同じ場合はチェックボックスを選択可能

**注意:** 今回のチュートリアルは無料利用枠内で実行できる内容ですが、アカウント作成には支払い方法の登録が必要です。

## 1.6 本人確認



The screenshot shows the AWS Console Signup page for payment information. The browser address bar displays the URL: portal.aws.amazon.com/billing/signup?type=register#/paymentinformation. The page is divided into two main sections. The left section features a large graphic of a credit card with a blue checkmark, indicating successful registration. The right section contains several input fields and checkboxes. The '有効期限日' (Expiration Date) field is set to '09/99'. The 'セキュリティコード' (Security Code) field is masked with four asterisks. The 'カードの名前' (Card Name) field is filled with 'KEIICHI OGAWA'. The '請求先住所' (Billing Address) section has two options: '連絡先住所を使用' (Use contact address) and '新しい住所を使用' (Use new address). The '連絡先住所を使用' option is selected, and the address details are: 'Yokohama, Naka Ward, Motohamacho, 3 Chome- 2 1-2, Kanagawa, 231-0004, JP'. The '支払い通貨' (Payment Currency) section has a dropdown menu set to 'JPY - 日本円'. At the bottom of the right section, there is an orange button labeled '確認して次へ - (ステップ 3/5)'. The Windows taskbar at the bottom shows the search bar, task view, and various application icons, with the system clock displaying 2:32 on 2025/05/24.

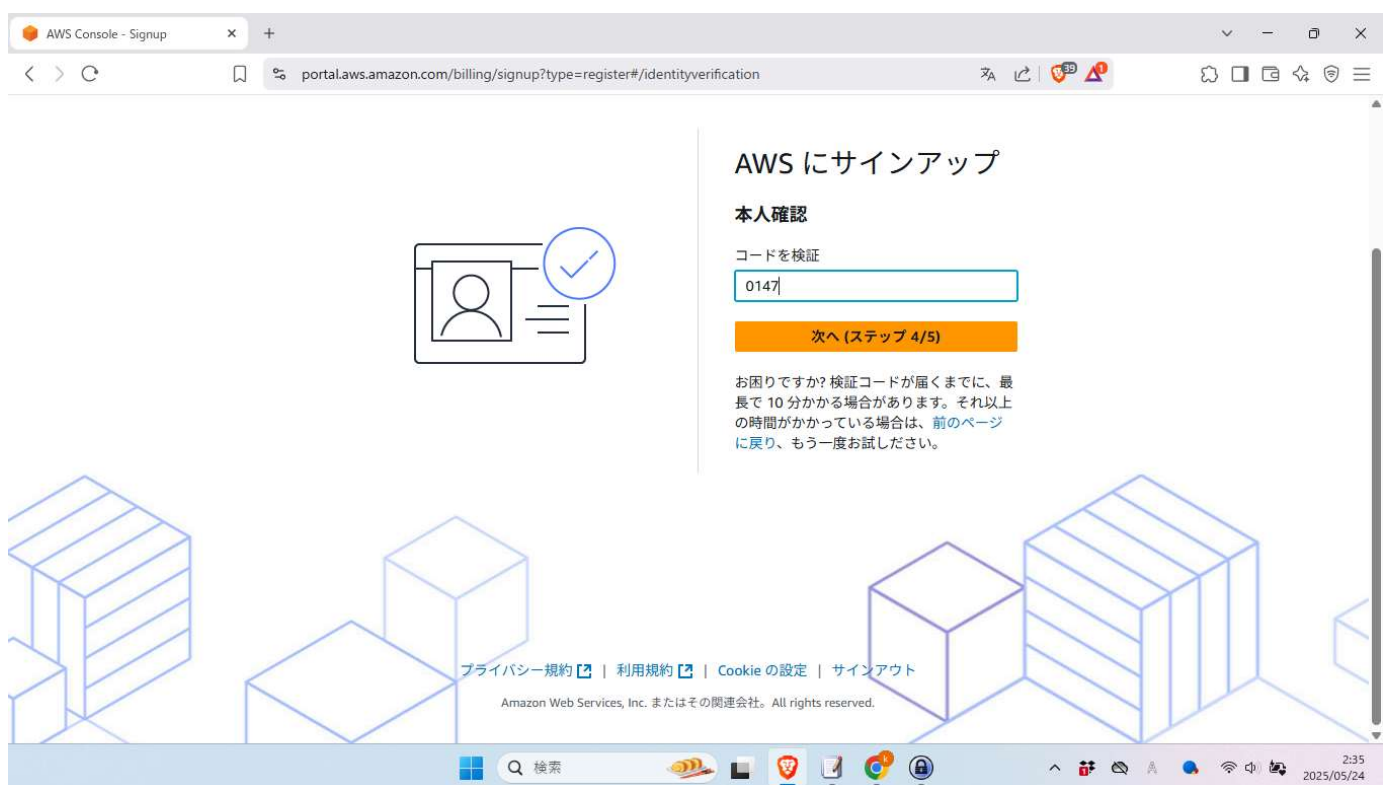
有効期限日: 09/99  
セキュリティコード: \*\*\*\*  
カードの名前: KEIICHI OGAWA  
請求先住所: ☒ 連絡先住所を使用  
Yokohama  
Naka Ward  
Motohamacho, 3 Chome- 2 1-2, Kanagawa,  
231-0004  
JP  
☐ 新しい住所を使用  
支払い通貨: JPY - 日本円  
確認して次へ - (ステップ 3/5)

電話番号による本人確認を行います。  
SMSまたは本人へのコールで認証されます。



)

上記の画面が表示されたら、指定した方法で通知が来ます。





## 1.7 サポートプランの選択

The screenshot shows the AWS Signup page with the title "AWS にサインアップ" and the sub-header "サポートプランを選択". Below this, there is a text block explaining that users should choose a support plan for their business or personal account, with a link to compare plans and prices. Three support plans are listed in boxes:

- ベーシックサポート - 無料** (Basic Support - Free):
  - AWS の使用を開始したばかりの新規ユーザーにお勧め
  - AWS リソースへの 24 時間 365 日対応のセルフサービスアクセス
  - アカウントと請求の問題のみ
  - Personal Health Dashboard と Trusted Advisor へのアクセス
- デベロッパーサポート - 29 USD/月から** (Developer Support - 29 USD/month):
  - AWS を試用するデベロッパーにお勧め
  - 営業時間中の AWS サポートへの E メールでのアクセス
  - 12 (営業) 時間の応答時間
- ビジネスサポート - 100 USD/月から** (Business Support - 100 USD/month):
  - AWS での実稼働のワークロードの実行にお勧め
  - E メール、電話、チャットによる 24 時間年中無休のテクニカルサポート
  - 1 時間の応答時間
  - Trusted Advisor のベストプラクティスに関するすべての推奨事項

Below the plans, there is a section titled "エンタープライズレベルのサポートが必要ですか?" (Do you need enterprise-level support?). It states that for 15,000 USD per month or more, a dedicated technical account manager is available for 15 minutes per hour, and a link to "詳細はこちら" (Details here) is provided.

サポートプランは無料の「ベーシック」でかまいません。

## 2. AWSコンソールへのログイン

### 2.1 初回ログイン

本人確認が完了すると、AWSマネジメントコンソールにアクセスできるようになります。

The screenshot shows the AWS registration confirmation page. At the top, there is a navigation bar with the AWS logo, links to "AWS について", "お問い合わせ", "サポート", "日本語", "アカウント", and a "サインアップを完了する" button. Below the navigation bar, there is a large illustration of a rocket launching from a cloud. The main heading is "おめでとうございます。" (Congratulations.). Below this, there is a text block stating "AWS にサインアップしていただきありがとうございます。" (Thank you for signing up for AWS.) and "数分でアカウントが有効になります。アカウントが有効になり次第、E メールでお知らせいたします。" (Your account will be active within minutes. We will notify you via email once your account is active.). A red box highlights a button that says "AWS マネジメントコンソールにお進みください" (Go to the AWS Management Console). Below the button, there is a link that says "別のアカウントにサインアップするか、お問い合わせください" (Sign up for another account or contact us for more information.). The URL in the address bar is "https://console.aws.amazon.com".

「AWSマネジメントコンソールにお進みください」をクリック。

## 2.2 すべてのサービスを見える

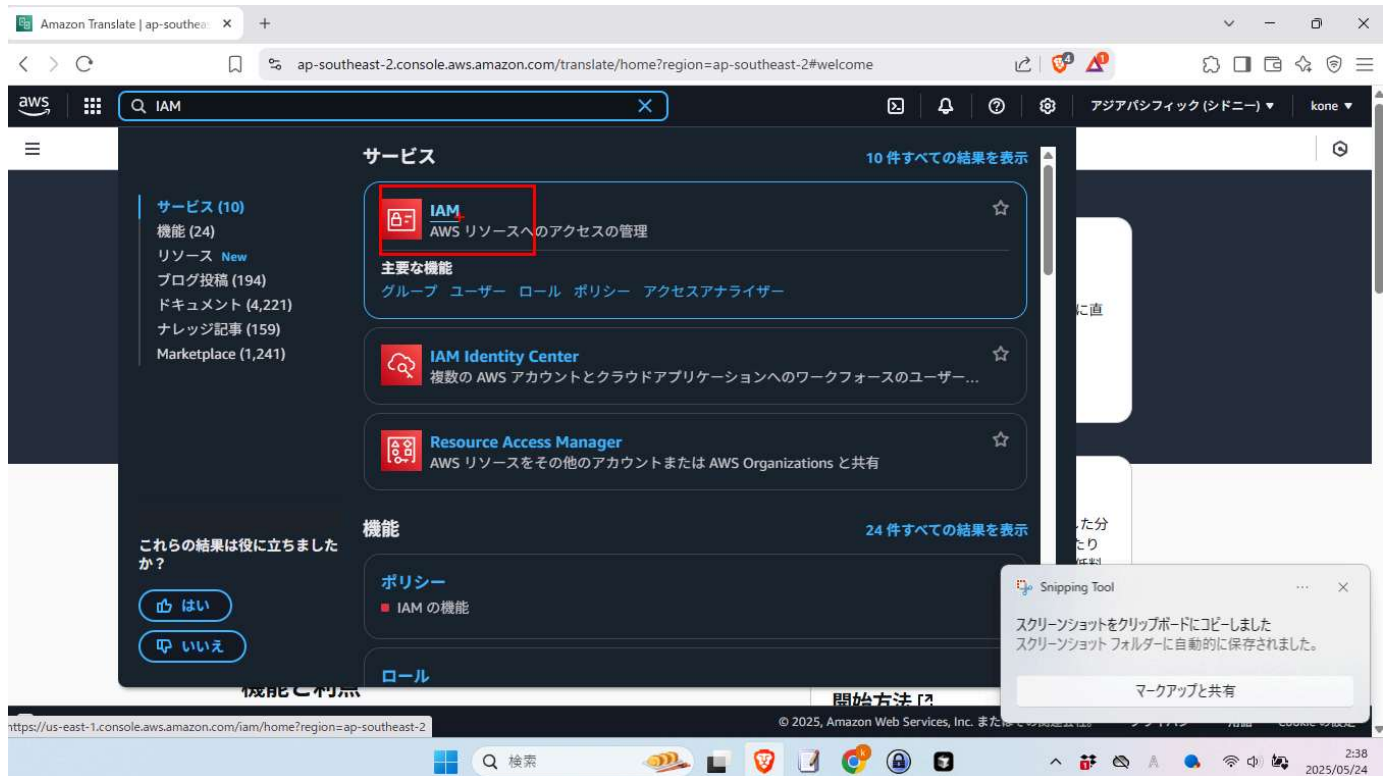
The first screenshot shows the AWS Management Console 'Home' page for the 'ap-southeast-2' region. The '最近アクセスしたサービス' (Recently accessed services) section is empty, and the 'すべてのサービスを表示' (Show all services) button is highlighted with a red box. The 'アプリケーション (0)' (Applications) section is also visible.

The second screenshot shows the 'すべてのサービス' (All Services) page. The services are categorized into several groups, including 'Machine Learning', 'ビジネスアプリケーション' (Business Applications), and 'エンドユーザーコンピューティング' (End-user computing). The 'Amazon Translate' service is highlighted with a red box.

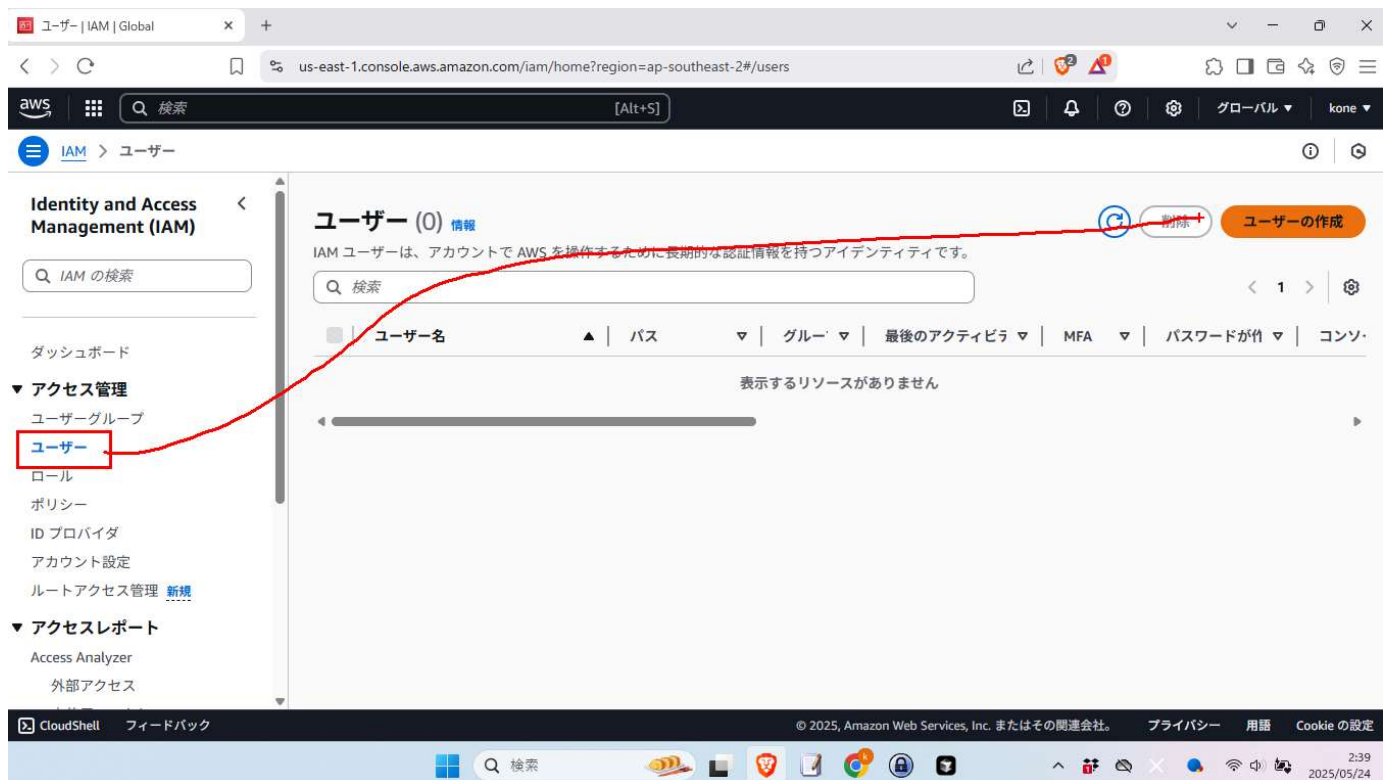
AWS には様々なサービスがあります。



## 2.3 IAM でユーザを作る



左上の検索ダイアログに IAM と入力して IAM メニューを見つけます。



左メニューで「ユーザ」を見つけてクリック。  
右の画面で「ユーザを作成」をクリック。



ユーザの詳細画面でユーザ名を設定しましょう。

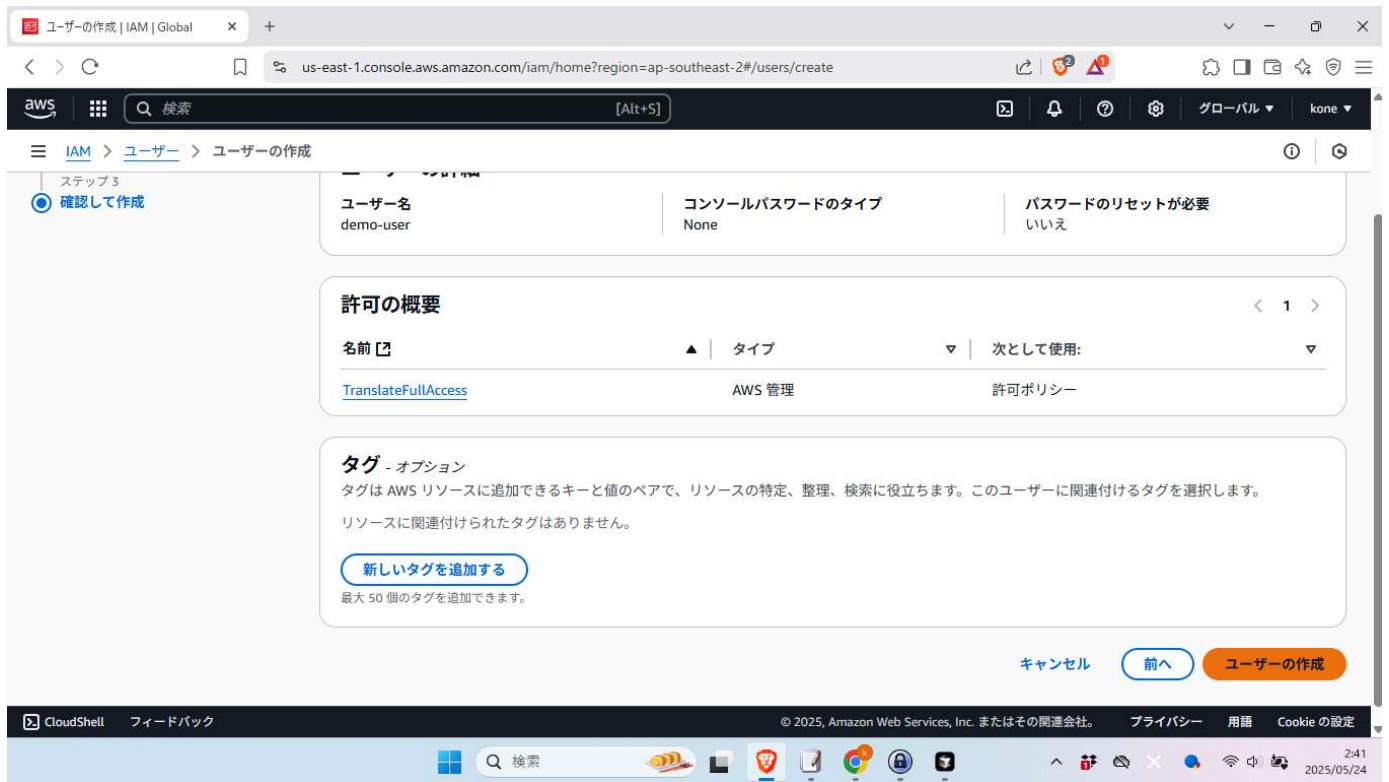
## 2.4 IAM で作ったユーザに permission を割り当てる

AWS Translation を使うために、今作った IAM ユーザに「TranslateFullAccess」の権限を割り当てます。

「グループに権限を割り当ててそのグループに参加させる」という方法もありますが、グループを作っていないので今回はユーザに直接権限を付与します。



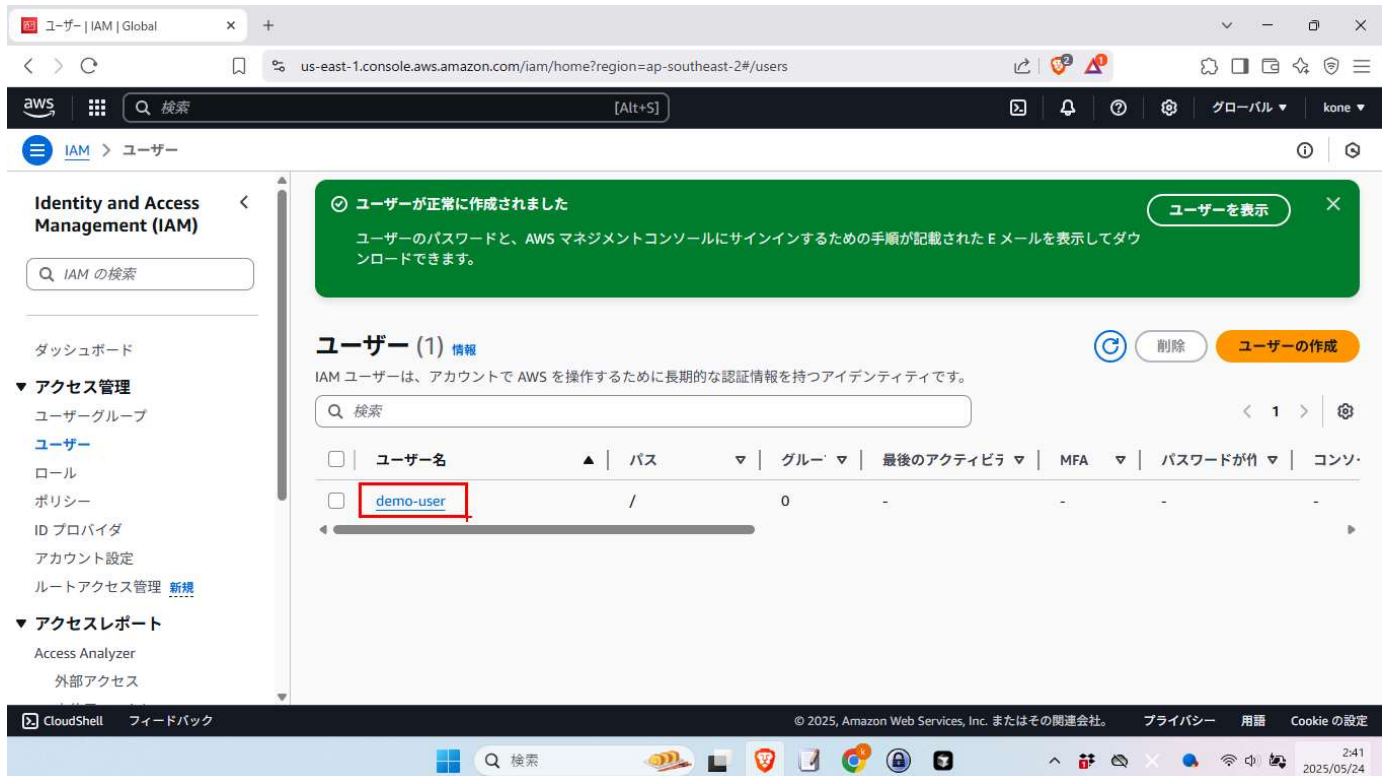
「許可ポリシー」の検索窓に TranslateFullAccess と入力します。  
見つかった TranslateFullAccess を選択し、「次へ」ボタンを押します。



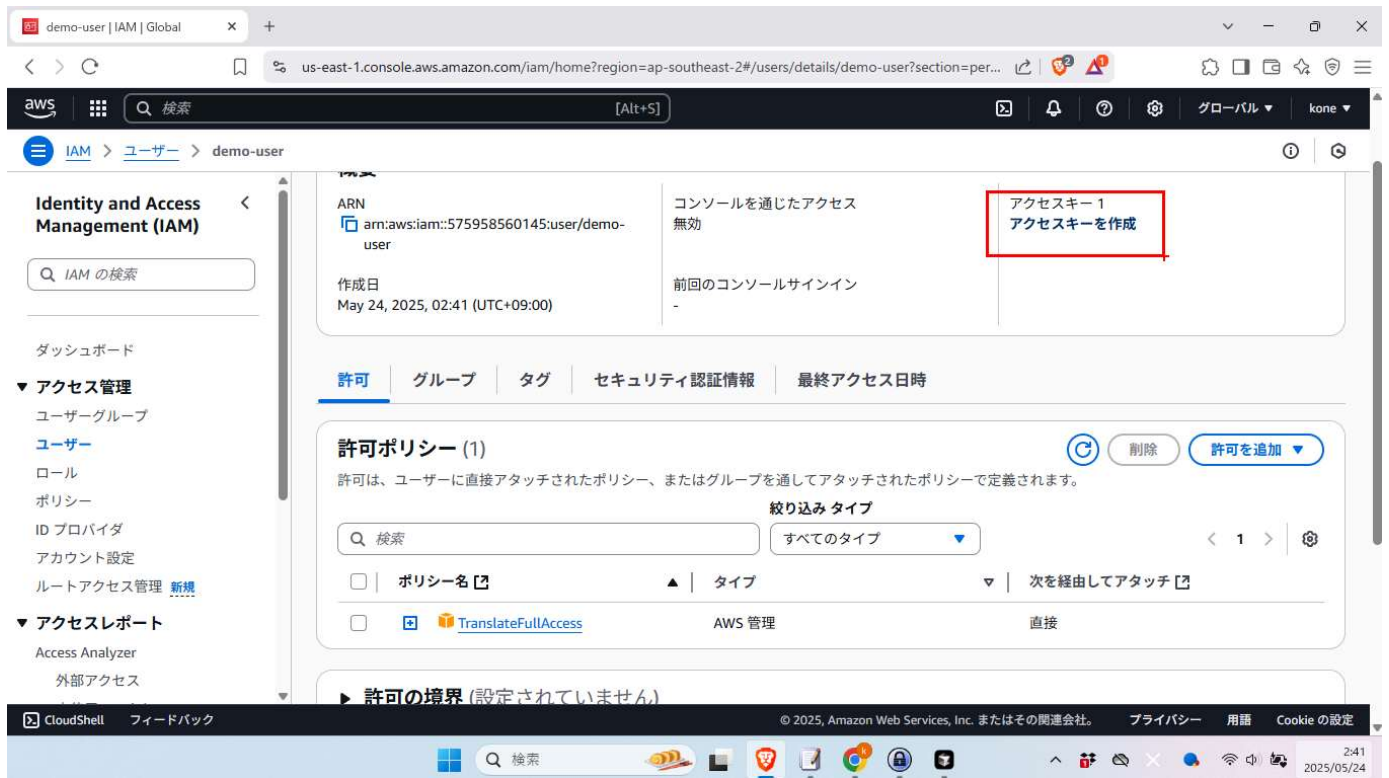
権限が付与されたことを確認します。

## 3. ユーザのアクセスキーペアを作る

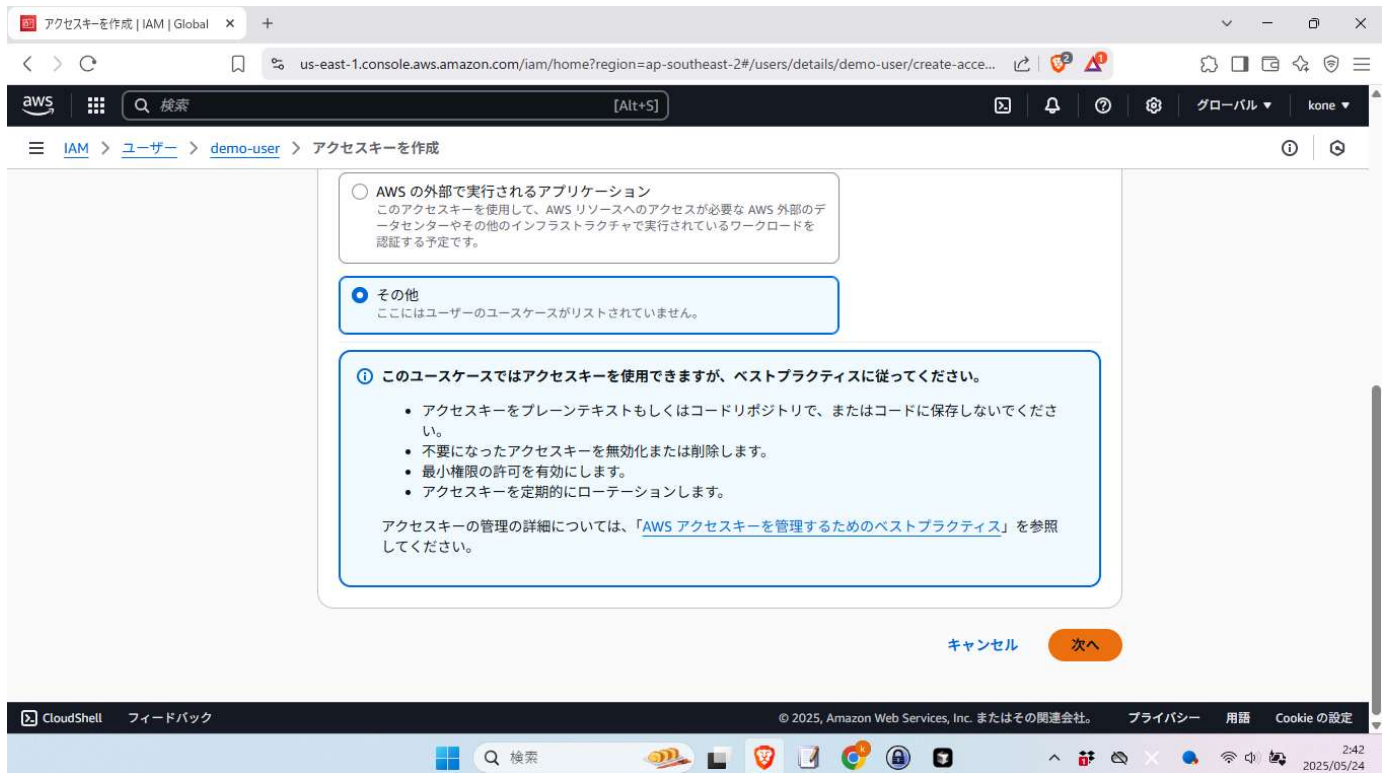
### 3.1 ユーザのアクセスキーペアを作ります



ユーザリストを表示し、さきほど作った demo-user を見つけてクリック。

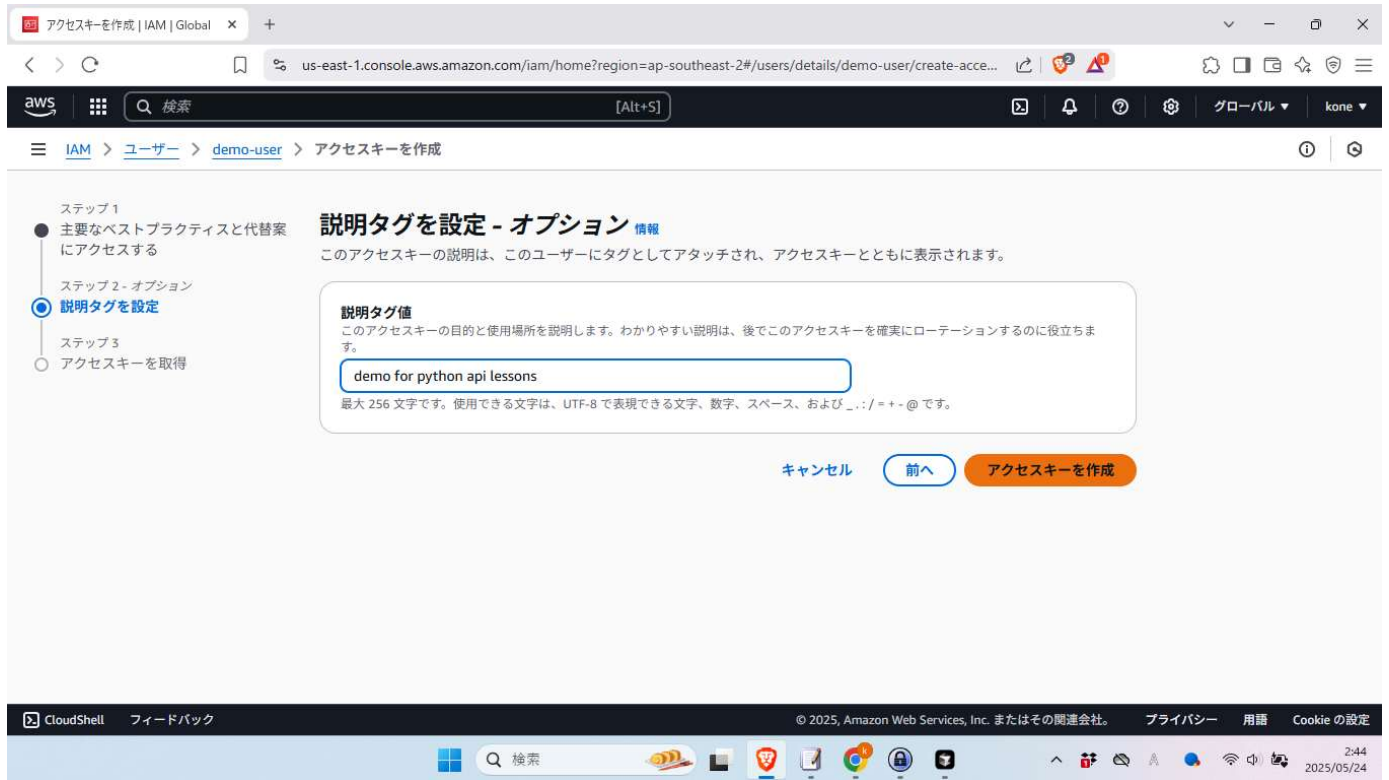


アクセスキー作成ボタンを押します。

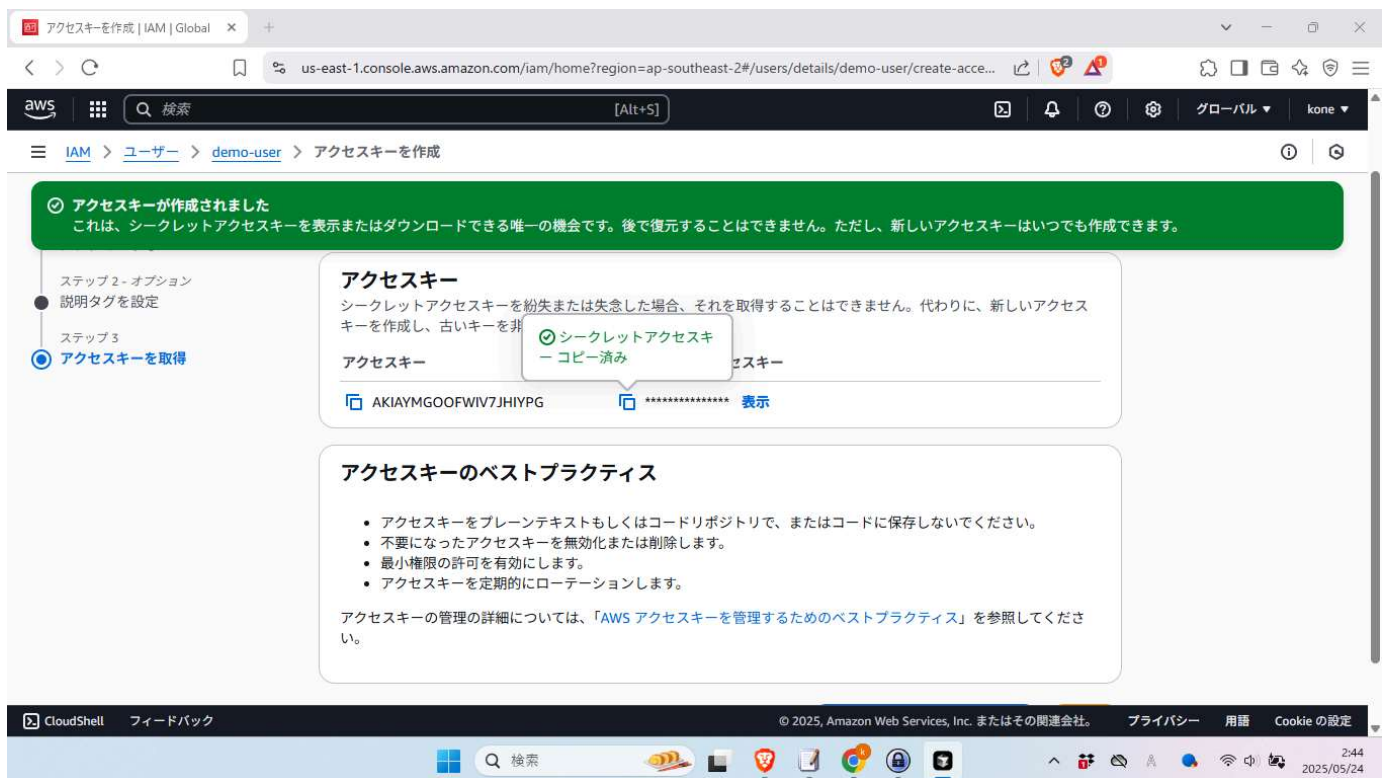


最後の選択肢を選択します。





アクセスキーの詳細を記述します。



アクセスキーとシークレットアクセスキーのペアを取得できます。  
.env ファイルにはこれら値を使用します。

さっそく、aws01\_translate\_text.py で動作確認をしてみてください。

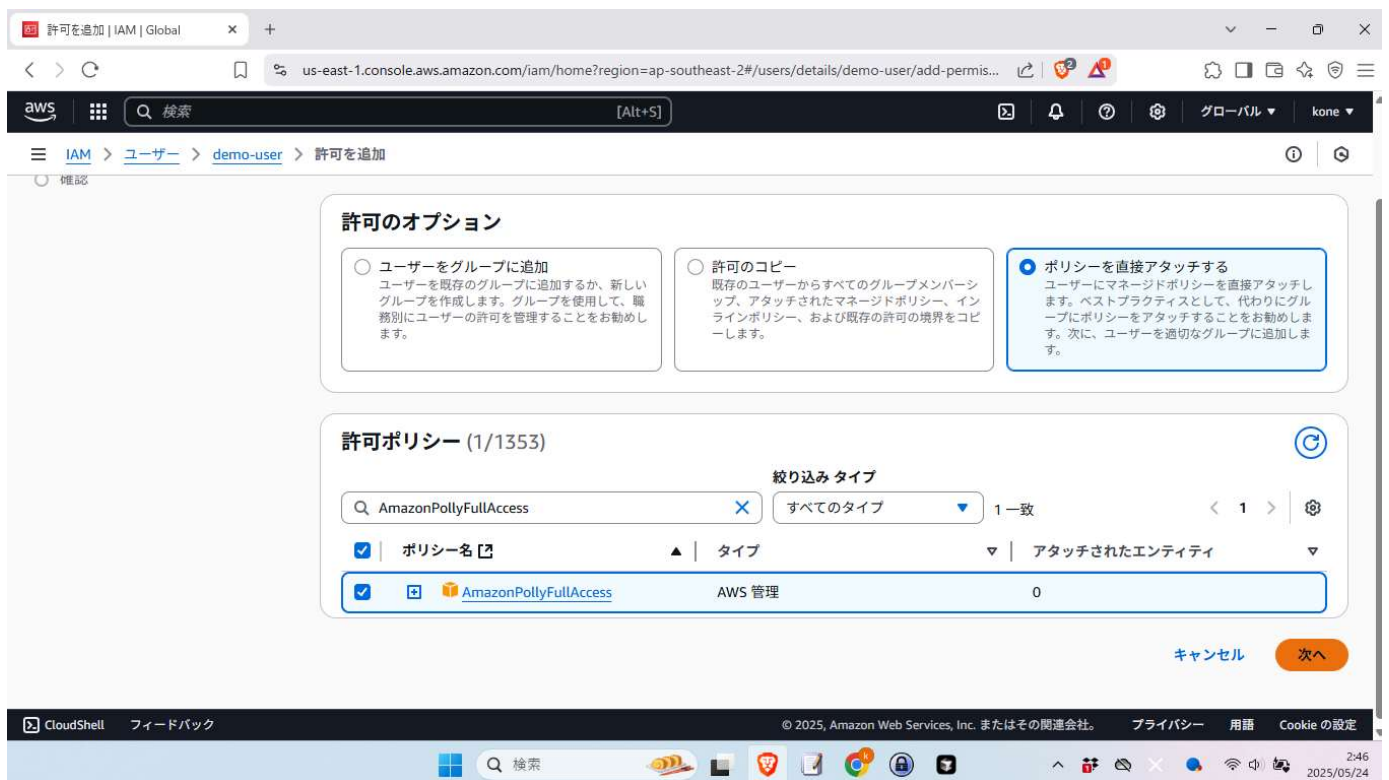
## 4. IAMユーザの権限を追加する

Polly を使うための権限をさらに追加してみよう。

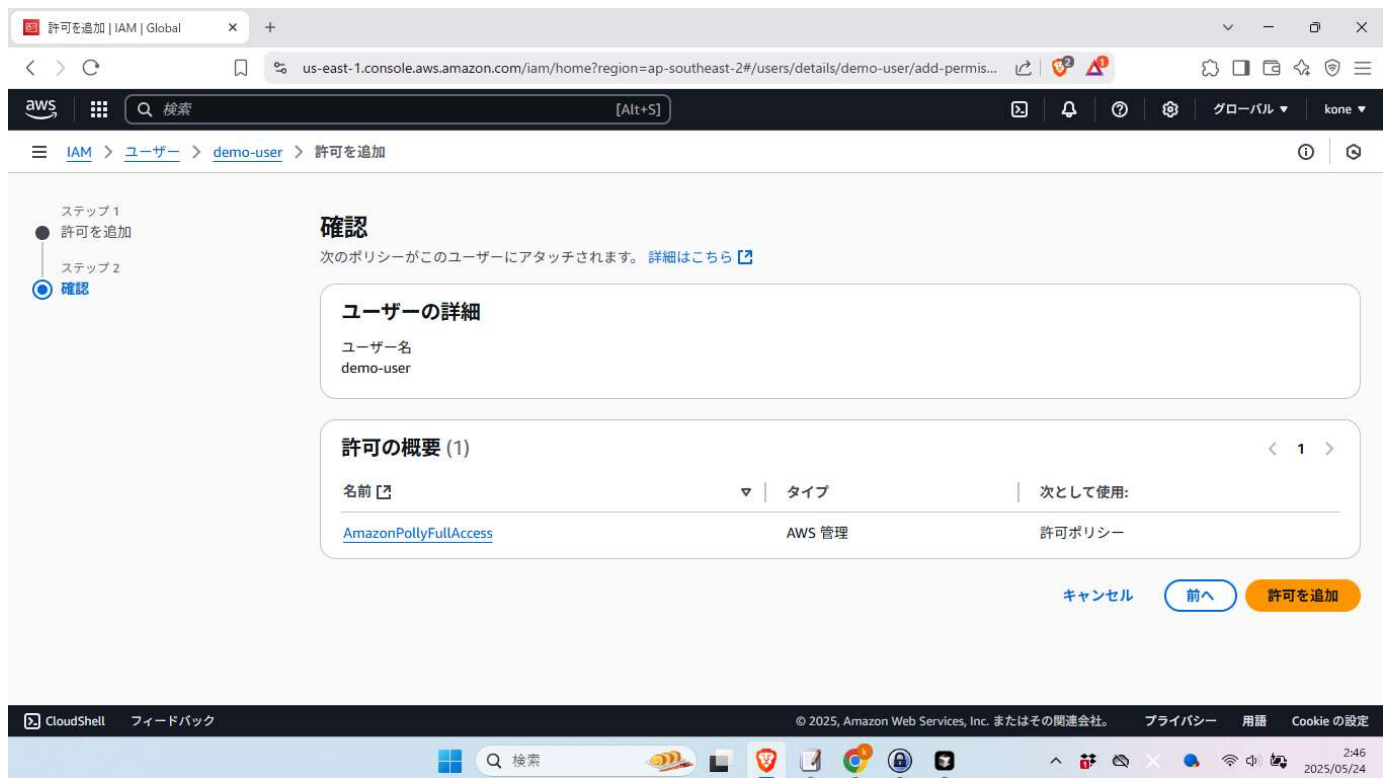




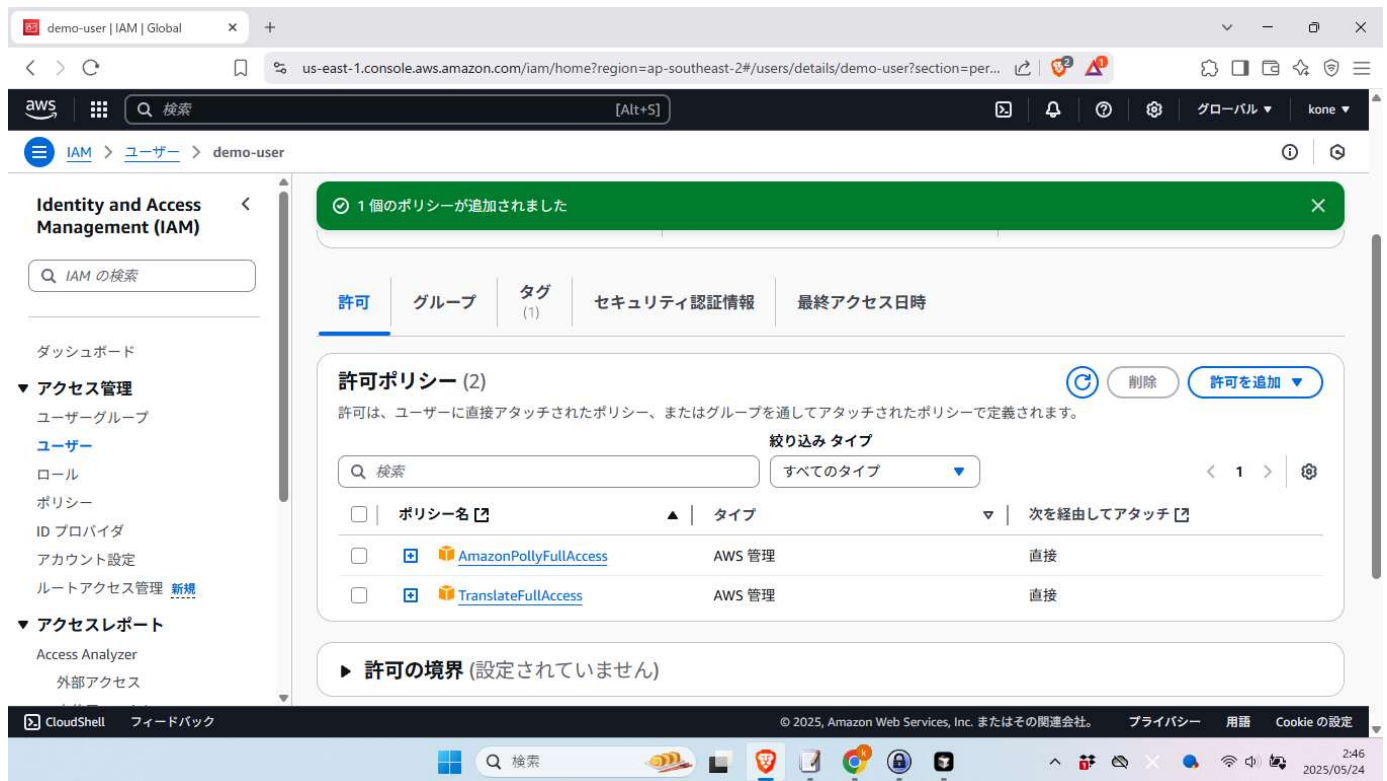
ユーザ画面右の「ポリシーを追加」ボタンをクリック。



あとは Translate の権限を追加したときと同様。  
検索から AmazonPollyFullAccess を見つけてくる。



追加する権限の確認画面。



最終的に2つの権限を有する状態になった